

平成29年度（30年3月期） 第3四半期連結決算概要

1. 平成29年度 第3四半期 決算実績 <対前期>

(1) 決算実績のポイント		増収増益：増収は3期ぶり、増益は2期ぶり（純利益ベース）		(単位:億円)	
ガス販売量	△153百万m ³	他事業者向供給の供給先減			
電力販売量	+1,226百万kWh	小売電力件数増			
売上高	+1,354億円	原料費調整に伴う単価増などによる「都市ガス」の売上増 +792億円 :小売電力販売量増などによる「電力」の売上増 +501億円			
営業費用	+955億円	原油価格上昇影響などによるガス原材料費等増 +747億円（当期 4,266 ← 前期 3,519） :小売電力販売量増に伴う電力営業費増 +447億円（当期 1,428 ← 前期 981）			
営業外損益	△2億円	持分法による投資利益 △7億円（当期 9 ← 前期 16）、支払利息 △3億円、受取配当金 +9億円			
特別損益	+9億円	(当期) 固定資産売却益 +32億円、投資有価証券売却益 +30億円、減損損失 △23億円 (前期) 投資有価証券売却益 +29億円			

<平成29年12月末現在連結会社数：連結子会社 72社、持分法適用関連会社 8社>

(単位:億円)

決算実績表	29年度3Q	28年度3Q	増 減	%
売上高	12,214	10,860	1,354	12.5
営業費用	11,534	10,579	955	9.0
営業利益	680	281	399	141.6
経常利益	653	255	398	155.4
親会社株主に帰属する当期純利益	483	174	309	177.3

経済フレーム	29年度3Q	28年度3Q	増 減
為替レート（¥/\$）	111.69	106.65	5.04
原油価格 (\$/bbl)	53.86	44.89	8.97
平均気温 (°C)(※)	18.9	19.5	△ 0.6

(※)お客様それぞれの、ご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したもの。

(2) ガス・電力販売量

		29年度3Q	28年度3Q	増 減	%
ガス	家庭用	百万m ³	2,169	2,083	86
	業務用	百万m ³	1,910	1,906	4
	工業用	百万m ³	5,430	5,471	△ 41
	計	百万m ³	7,340	7,377	△ 37
	他事業者向供給	百万m ³	1,424	1,626	△ 202
	合 計	百万m ³	10,933	11,086	△ 153

家庭用 : 低気温影響による給湯需要増

業務用 : 前年度並み

工業用 : 発電専用稼働減

他事業者向供給 : 供給先減

当社供給区域内の3Q末 都市ガス取り付けメーター数（千件） : 11,627 (対前期+139)

		29年度3Q	28年度3Q	増 減	%
電力	小 売	百万kWh	2,912	1,311	1,601
	そ の 他	百万kWh	7,580	7,955	△ 375
	合 計	百万kWh	10,492	9,266	1,226

小 売 : 件数増による販売量増

(3) セグメント別売上高・セグメント利益

	売上高				セグメント利益			
	29年度3Q	28年度3Q	増 減	%	29年度3Q	28年度3Q	増 減	%
都市ガス	7,863	7,071	792	11.2	636	395	241	60.7
電力	1,508	1,007	501	49.8	80	26	54	209.3
海外	330	196	134	68.1	62	24	38	157.2
エネルギー関連	3,273	3,165	108	3.4	100	102	△ 2	△ 1.9
不動産	316	309	7	2.1	66	66	0	0.4
その他	638	616	22	3.6	27	20	7	36.1
調整額	△ 1,716	△ 1,506	△ 210	—	△ 285	△ 338	53	—
連結	12,214	10,860	1,354	12.5	689	298	391	131.4

(注) ・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。

・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。

・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エンジニアリングソリューション、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4) 主要計数

	29年度3Q	28年度3Q	増 減		29年度3Q	28年度3Q	増 減
設備投資	1,335	1,277	58	D/Eレシオ	0.68	0.65	0.03
営業キャッシュ・フロー	1,697	1,379	318	ROA	2.1	0.8	1.3
有利子負債	7,611	7,135	476	ROE	4.4	1.6	2.8

(注) 有利子負債、D/Eレシオは平成29年3月末との比較

2. 平成29年度 通期見通し <対前回（10.27）見通し>

(1) 通期見通しのポイント

対前回 増収増益（対前期 増収増益）

ガス販売量：家庭用・工業用等の増加を反映

売上高：都市ガス+139億円（ガス販売量増）、電力△20億円（電力販売量減）他

営業費用：都市ガス+91億円（ガス販売量増）、電力△26億円（電力販売量減）他

営業利益：都市ガス+48億円、電力+6億円 他

前提となる4Qの経済フレーム（原油価格）を変更

原油価格:55\$/bbl→60\$/bbl（為替レートは変更なし:115円/\$）

	今 回	前 回	増 減	%	28年度	増 減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,509	15,347	162	1.1	15,720	△ 211	△ 1.3
電力販売量(百万kWh)	14,578	14,824	△ 246	△ 1.7	12,654	1,924	15.2
売上高	18,050	17,950	100	0.6	15,870	2,180	13.7
営業費用	17,080	17,070	10	0.1	15,287	1,793	11.7
営業利益	970	880	90	10.2	583	387	66.2
経常利益	920	830	90	10.8	556	364	65.2
親会社株主に帰属する当期純利益	700	630	70	11.1	531	169	31.7

経済フレーム	29年度	28年度	増 減
為替・原油変動のガス粗利影響感度(4Q)			
円・ドルレートが¥1/\$円安	3	14	△ 11
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	0	2	△ 2